

ふるさと応援団木島平会会報

会員の皆様へ 新年のご挨拶

心の繋がる安心を

新年明けましておめでとございます。
皆様には健やかに新春をお迎えの事とお慶び申し上げます。心痛む事件の多かった昨年を忘れ、今年こそ不安のない、心温まる良い年でありますように祈念申し上げます。
気持ちの性が最近特に正月のめでたさも中途半端に感じ、新年の心の身構え方も薄れたナーと、つくづく小林一茶の句が思い出されます。

さて、「ふるさと応援団木島平会」も平成 14 年に発足して 7 歳になります。人間だと小学校へ入学であり、人生次のステップを踏み出す年齢であります。木島平会も同様に次のステップへ順調に歩を進めていきますよう祈念申し上げます。

島崎藤村は故郷への思い出を「血のつながる故郷」「心のつながる故郷」と綴っています。一人ひとりが故郷を懐かしく偲び、語り合うことは、今日の落ち着けない、不安な世情社会の中では大いに必要な事ではないかと思っております。本「木島平会」の大事な在り様の一面かとも思っています。昔、自分たちの育った良き「ふるさと」はそのまま誰にも壊されないように自分の心にしつかりと記憶し、育んで行きましよう。村での現実社会では、家族を守り生活して行く上では、どうしようもなく、また、やむを得ずに自然を破壊、又は自然の維持が困難な事も多いのが実情ですが、願わくば壊したものを元に戻す時間と経費などを考えると、短絡的な目先の損得だけでなく、将来の子孫の生活も計りに掛けての我慢と忍耐、そして夢を託した英断を、無理と解って強く望むもの一人です。

情報のめちやくちやに多い今の時代では、特に口コミ等しつかりした情報伝達は威力があります。「ふるさと応援団木島平会」会員の一人として、村の外交マンとして自然劇場木島平村の自然や文化、産物などを宣伝紹介して参りましよう。そして、木島平村に更に興味を持っていきましよう。故郷の自慢は誠に気分の良いものです。

それから、この「会報」に会員自身の声や姿が見えないのは、とても寂しく感じます。皆さんから沢山の意見や情報・紹介、宣伝等の投稿を頂き、バラエティに富んだ紙面内容での発行を希望しています。

最後になりましたが、この会の益々の発展と、皆々様のご健勝とご多幸を心より祈念申し上げます。雑駁ですが年頭の挨拶といたします。

ふるさと応援団木島平会 副会長 小林 荘志

鬼島太鼓 調布公演

「はる 青春を弾つ」

全国レベルの迫力ある鬼島太鼓の演奏です。自然豊かな木島平村から力強い情熱と感動をお届けします。



期 日 平成 20 年 2 月 9 日 (土)
時 間 【開場】午後 1 時 30 分 【開演】午後 2 時
場 所 調布市文化会館 たづくり (くすのきホール)
定 員 500 人
入 場 料 無料

【プロフィール】

鬼島太鼓は、小・中・高校生の女子で構成された和太鼓チームです。日本古来の和太鼓スタイルと、アメリカナイズされた演奏とリズム。溢れんばかりの笑顔に世代を超えた熱狂的なファンを持っています。ドイツやルクセンブルクをはじめ、毎年海外公演をこなした数々の大反響を巻き起こしてきました。

特に「東京国際和太鼓コンテスト」では、並み居る成人チームをおさえ、組太鼓一般の部で第 2 回大会・第 5 回大会の 2 度の最優秀賞を受賞し、大会初の快挙を成し遂げました。



新たな姉妹都市交流に向けて

調布市では「保養所廃止」の政策に伴い、調布市木島平山荘は 3 年を目途に業務中止する方針となりました。そのため、村では、拠点施設に頼らない村民・市民レベルでの新たな交流を今後展開したいと考えていますので、都市生活者から見たご意見、アイデア等をお寄せください。



昭和 59 年に建設された調布山荘

会報の原稿提供のお願い

『自然劇場きじま平と私』

村で過した時代の出来事は楽しかったこと、そして悲しく辛かった事にせよ、今になれば善し悪しは別にしても忘れられない思い出の一つであります。また村を訪れる度に色々とかを感じておられる事かと思えます。そんな思い出やら気持ちを写真入で掲載したいと思えます。皆さんのご協力をお願いします。

『うちの区(集落)を紹介します』

区の写真と区出身者に自分の区の紹介を掲載したいと思えます。その他にも会員の皆様からの情報やコメントなどを掲載していきたいと思えますので皆様のご協力をお願いします。

【お悔やみ】

ホテル・パノラマランド木島平の取締役専務 瀧澤幸世さん (70 歳) が昨年の 12 月 21 日、お亡くなりになりました。謹んでご冥福をお祈りいたします。